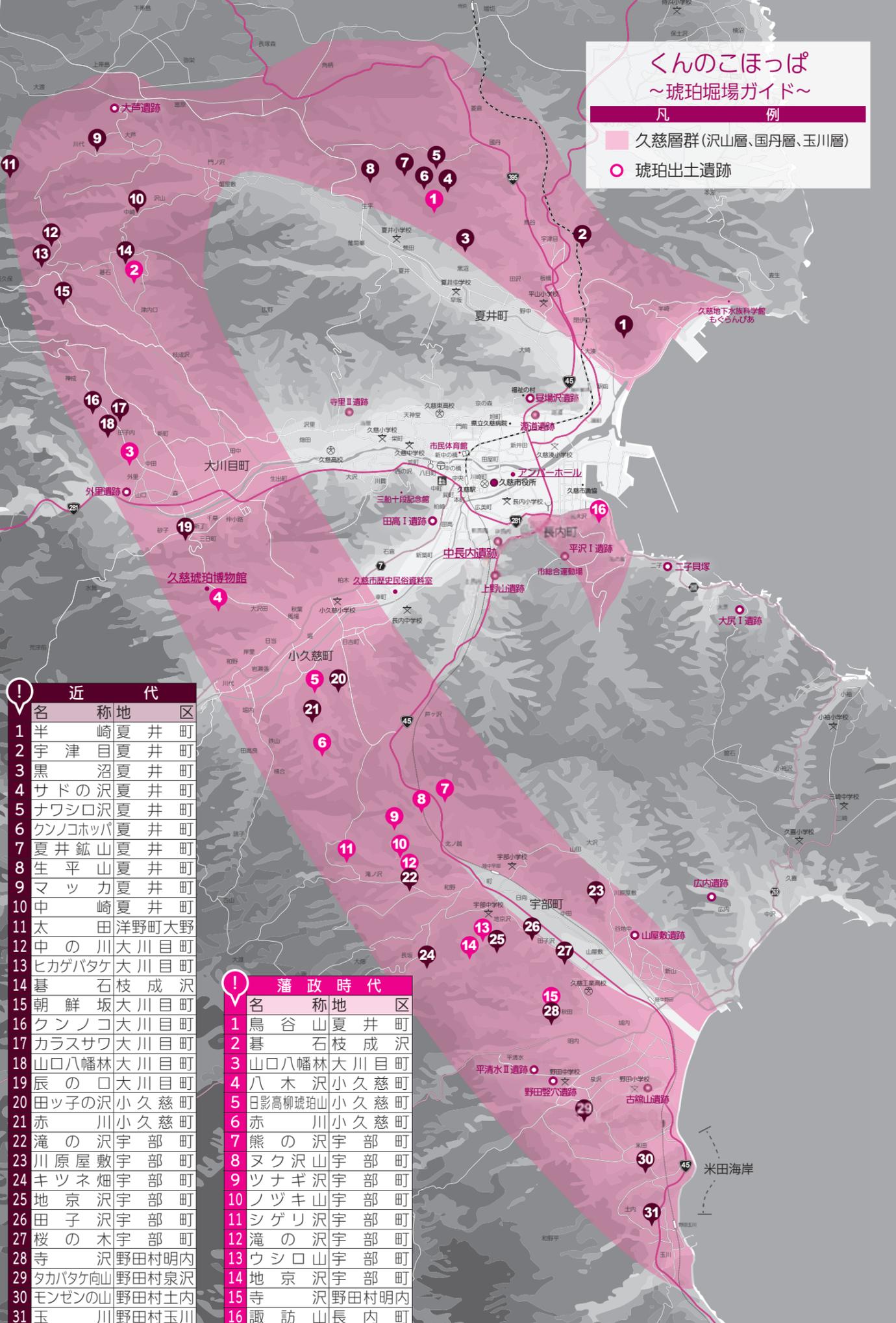


くんのこほっぱ ～琥珀掘場ガイド～

凡 例

- 久慈層群(沢山層、国丹層、玉川層)
- 琥珀出土遺跡



近 代			
名	称	地	区
1	半 崎	夏 井 町	
2	宇 津 目	夏 井 町	
3	黒 沼	夏 井 町	
4	サドの沢	夏 井 町	
5	ナワシロ沢	夏 井 町	
6	クノコホッパ	夏 井 町	
7	夏井鉦山	夏 井 町	
8	生 平 山	夏 井 町	
9	マ ッ カ	夏 井 町	
10	中 崎	夏 井 町	
11	太 田	洋野町	大野
12	中 の 川	大川目町	
13	ヒカゲバタケ	大川目町	
14	碁 石	枝 成 沢	
15	朝 鮮 坂	大川目町	
16	クノコ	大川目町	
17	カラスサワ	大川目町	
18	山口八幡林	大川目町	
19	辰 の 口	大川目町	
20	田ツ子の沢	小久慈町	
21	赤 川	小久慈町	
22	滝 の 沢	宇 部 町	
23	川原屋敷	宇 部 町	
24	キツネ畑	宇 部 町	
25	地 京 沢	宇 部 町	
26	田 子 沢	宇 部 町	
27	桜 の 木	宇 部 町	
28	寺 沢	野田村	明内
29	タカバタケ向山	野田村	泉沢
30	モンゼンの山	野田村	土内
31	玉 川	野田村	玉川

藩 政 時 代			
名	称	地	区
1	鳥 谷 山	夏 井 町	
2	碁 石	枝 成 沢	
3	山口八幡林	大川目町	
4	八 木 沢	小久慈町	
5	日影高柳琥珀山	小久慈町	
6	赤 川	小久慈町	
7	熊 の 沢	宇 部 町	
8	又ク沢山	宇 部 町	
9	ツナギ沢	宇 部 町	
10	ノツキ山	宇 部 町	
11	シゲリ沢	宇 部 町	
12	滝 の 沢	宇 部 町	
13	ウシロ山	宇 部 町	
14	地 京 沢	宇 部 町	
15	寺 沢	野田村	明内
16	諏 訪 山	長 内 町	

くんのこほっぱ



久慈地域では古くから琥珀の採掘がおこなわれてきました。琥珀掘場は「くんのこほっぱ(薫陸香掘場)」と呼ばれ、そのいくつかは記録に残っています。一部、露天掘りでの採掘が行われたこともあったようですが、多くは「スキ掘り」とも呼ばれる坑道掘りでした。

採掘は手作業で行われ、ハンマーとタガネで掘っていきます。また、ツルハシも使用され、すり減りやすい先端を交換式にした片ツルハシなど、工夫した道具も使っていたようです。

琥珀の含まれる地層は、海底で堆積形成された泥岩や砂岩の層です。このため、比較的水平に分布しており、横方向に広く掘るのが一般的でした。主要坑道は高さ約1.2mで幅は約1.5～1.8m。坑道に枝坑道をつけ、ガニ穴と呼ばれる5m四方ほどのスペースを掘り、そこからさらに枝坑道を伸ばしていきました。ズリ(不要な土砂)のかき出しや、排水の観点から、坑道には上りの傾斜をつけるなど、工夫があったようです。

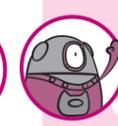
小久慈の赤川、大川目の田子内などで操業した理研琥珀工業を例にすると、昭和16年前後で夫1人当たりの給料が1円30銭ほどで、女性や子どもなど坑道外での雑用がその半額。一番安い選鉱が40銭程度でした。当時、川崎造船所の製板工場久慈製鉄所が操業していましたが、それより1割ほど高い賃金で雇っていたということです。

琥珀の買い取り価格は1斤(600g)1円60銭ほどで、個人で琥珀を採掘し、理研や盛岡の業者などに販売する人もいたようです。

アンバーホール2階に展示してある琥珀の大原石。高さ幅が約40cm、重さは19.876kgあり、白亜紀の琥珀としては世界最大級の大きさです。夏井町鳥谷で採掘されたと伝えられています。



隣には久慈の海を描いた琥珀のモザイク画も展示されています。機会があればぜひ一度見に来てください!



琥珀の性質

- 主成分…炭素80%、水素10%、酸素10%
- モース硬度…2～2.5
- 平均的な比重…1.05～1.08(濃い食塩水には浮かぶ)
- 融点…200～380℃

琥珀の特徴は、柔らかく軽いことです。モース硬度2.5は大体人間の爪と同じくらいの硬さ。比重は海水が約1.025ほどなので、それよりは少し重く、沈みます。しかし、ひとたび海が荒れると海底の砂などととも巻き上げられ、浜辺に漂着することがあり、これを漂着琥珀といいます。久慈周辺だと、久慈の前浜や野田村の米田海岸などで漂着琥珀を見つけることができます。海沿い、または海底に琥珀を含む地層が広く分布しているバルト海沿岸では18世紀ころまで、この琥珀拾いが盛んにおこなわれていたようです。

琥珀は150℃以上で真空加熱すると軟化し、成形することが可能です。この性質を利用して、琥珀の小片や粉末を加熱圧縮成形したものは「アンブroid」と呼ばれます。また、琥珀は染料を加えることで色彩を変えることも可能です。

琥珀の産地

琥珀の埋蔵量世界一はバルト海沿岸地方。全世界の90%の琥珀が埋蔵するといわれます。このほか、中米のドミニカやメキシコ、中国の撫順などが主要な産地として挙げられます。

国内では、久慈地域が最大の埋蔵量を誇り、唯一商業用の採掘が行われています。小規模な琥珀産地は全国に点在し、千葉県銚子市や福島県いわき市などが挙げられます。



琥珀が縁となって、久慈市はバルト3国のひとつリトアニア・クライペダ市と姉妹都市を締結しているんだ!